

●立憲民主党災害対策本部視察 一熊本県一 (7月19日)

蒲島熊本県知事より被害状況を伺う



松谷球磨村長より被害状況を伺う



人吉市内 市街地の被害状況を調査



特別養護老人ホーム「千寿園」にて献花・慰問



●立憲民主党災害対策本部視察 一福岡県一 (7月24日)

大牟田市三川ポンプ場 視察①



大牟田市三川ポンプ場 視察②



大牟田市みなと小を視察



大牟田市天領コミュニティセンター



久留米市東合川地区



久留米市筑後川の調査



現場の声(要望)を届けます!

令和2年7月豪雨災害 野田くによし取り組み

我々の声(要望)が届きました!

7月10日『激甚災害指定』見込発令 9/25閣議決定 7月14日『特定災害指定』閣議決定

●大牟田市へ (7月8日)



大牟田市三川地区の冠水被害調査に



大牟田市みなと小学校

●久留米市へ (7月8・9日)



久留米市城島町山ノ井ポンプ場

●八女市へ (7月10日)



TEC FORCEによる立花町山下地区での作業を要請

●朝倉市・東峰村・筑前町へ (7月16日)



東峰村池谷村長より被害状況を伺う



朝倉市右田副市長より被害状況を伺う



筑前川河川事務所所長より被害状況を伺う



筑前町田頭町長より被害状況を伺う



山腹工対策を施した現場が再び被害に



中嶋玲子県議と共に朝倉市・郡を調査

人・くらし・地方が原点。

参議院議員 野田くによし

国政レポート 2021年

新年号 Vol. 53

本年も“国民目線の政治”をしっかりと前に進める!!

高い支持率でスタートした菅政権は“日本学術会議問題”でつまづきました。6人の会員の任命拒否の根底には、政権政策への批判を排除する政治性が見え隠れします。...

何より、未完に終わった「アベノミクス」。景気回復局面は、2012年12月から18年10月で終わり、内閣府は「景気後退」を認定、戦後最長記録は更新されませんでした。...

我々にはコロナ危機で傷ついた日本社会を建て直す使命があります。第3波の襲来にも係わらず“GoTo”事業の見直し判断に優柔さがみられた菅政権。...

そのような中であっても、野田国義氏は本年も“国民目線の政治”を確実にしっかりと前に進める為、国政において奮闘し、故郷福岡を奔走した活動をふり振り返りながら、年頭にあたりその抱負を訴えています。

令和3年、明けましておめでとうございます。皆様にかかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃からの御支援と御厚情に対しまして心より厚く感謝を申し上げます。...



参議院議員 野田国義

[写真] 2020年4月1日 参議院決算委員会 全大臣出席『全般的質疑』に理事として臨む NHK TV・ラジオ中継

開催決定!! 3/20 2021 野田国義「参議院行政監視委員長就任報告会」

国民に選択肢を示すとき!!

Event details including date (March 20, 2021), time (3:00 PM), venue (Hotel Fukuoka Garden Palace), and fee (10,000 yen).

いろいろなご要望やお困りのこと、国会見学をご希望の方はご遠慮なく下記へご連絡下さい!

Contact information for the support office, including phone numbers and addresses in Fukuoka, Kurume, and Tokyo.

the Diet 行政監視委員長に就任! 活動レポート in 国会

行政監視委員会は、1府11省1庁1房他、全ての行政監視を所掌します。加えて、その評価を行うと共に、行政に関する苦情も調査します。...

お茶振興議員連盟を立ち上げ 事務局長に就任! 新・立憲民主党でも、有志と共に“呼びかけ人”となり「お茶振興議員連盟」(会長:山井和則衆員(京都府))を立ち上げて、事務局長に就任致しました。...

Profile of Shinya Noda, including his birth date (1958), education (Fukuoka University, University of Tokyo), and political career.

# 国民目線の政治の実現を訴え続けた!! 野田くによし

2020年国政  
ダイジェスト

## ギモン 野田くによしは調査・追求します!

市長経験者から見ると、政府が推し進める現在の地方創生政策にギモン(問題あり)を感じます。分かりやすく表現すると、中央の採点により計画の善し悪しが決められてしまうため、各地方の政策はコンサルタントや、劣化したコピーの様な町づくりがまかり通ってしまう現状が列島を覆っていると感じるのです。

主眼である「人口減少」や「東京一極集中」の問題克服は、小手先の対応策では解決できません。しかしながら、「塵も積もれば...」の例えの通り、もはや、地方創生名目の予算の支出が5年間で既に約10兆円を超え、さらに積み増しされようとしています!

中間報告によれば、目玉施策である「地方創生推進交付金」については、1,741市区町村のうち243市区町村(全体の14.0%)が未活用で、「先駆・横展開タイプ」のみの交付金に至っては414市区町村(全体の23.8%)もの自治体が未活用です。これらに対する政府の詳細な言及や分析が無いのは、大いに「問題あり」です。

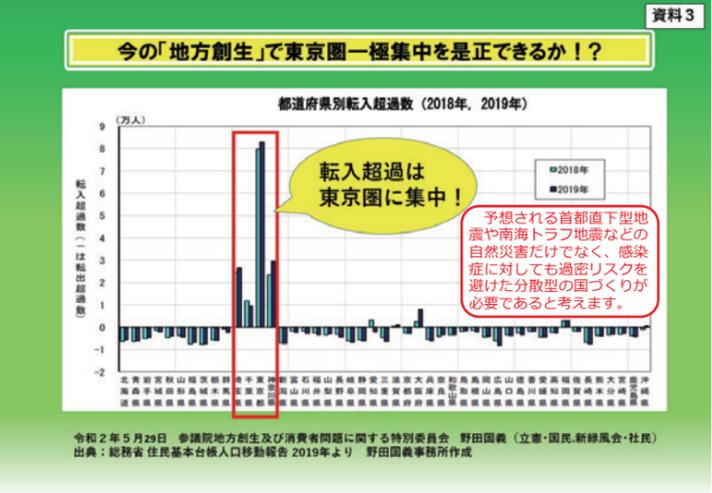
## ギモン これまで 今後5年間も大丈夫か 地方創生5年で約10兆円浪費!?

このままの地方政策で大丈夫か!?

年目	「地方創生」関連予算累計		約10兆円	
	5兆7317億円	4兆円超	5兆7317億円	4兆円超
5年目	令和元年度予算 ▶まち・ひと・しごと創生関連事業 ▶地方創生推進交付金	7,568億円 1,000億円	7,568億円 1,000億円	7,568億円 1,000億円
4年目	平成30年度予算 ▶まち・ひと・しごと創生関連事業 ▶地方創生推進交付金	6,777億円 1,000億円	6,777億円 1,000億円	6,777億円 1,000億円
3年目	平成29年度予算 ▶まち・ひと・しごと創生関連事業 ▶地方創生推進交付金	6,536億円 1,000億円	6,536億円 1,000億円	6,536億円 1,000億円
2年目	平成28年度予算 ▶まち・ひと・しごと創生関連事業 ▶地方創生推進交付金	6,579億円 1,000億円	6,579億円 1,000億円	6,579億円 1,000億円
1年目	平成27年度予算 ▶まち・ひと・しごと創生関連事業 ▶地方創生推進交付金	7,229億円 1,000億円	7,229億円 1,000億円	7,229億円 1,000億円

## ギモン 首都機能移転も視野に入れる時では!? 東京圏一極集中

コロナ対応社会づくり 国づくりが重要だ!!



## 決算委員会理事として奮闘!!

自粛要請と補償はセットでないと安心できない!生活出来ない!



決算を重視する参議院において、一国会で2回(4/1・6/15)のTV・ラジオ中継の質問に筆頭理事として臨み、総理をはじめ5大臣に質問を行っております。

政府は、まず4月7日に7都道府県に対し「緊急事態宣言」を発令し、9日後の16日には全国に拡大しました。

私は当初から「自粛要請は補償とセットであるべきだ」とお訴えしていました。さらに、新型コロナウイルス感染症が『歴史的緊急事態』であることを認めさせた上で、安倍政権では、ないがしろにされてきた「公文書管理」の大切さも訴え、未だになかなか受診できない「PCR検査」の体制整備や医療体制の崩壊予防策を本格的襲来に備え、強くお訴えさせて頂きました。

生中継 1期2回 TV・ラジオ 担当!

安倍総理の進退に言及していた!

同じく4月1日の中継では、安倍総理に対して「政治の師匠」ともいえる小泉純一郎元総理が「週刊朝日」のインタビューで辞任を促している事を指摘したところ、安倍総理は「放り投げる(辞める)ことは毛頭考えていない」と発言。

更に、祖父の岸元総理が、当時、日米安保への反対デモで犠牲者が出て、辞任にまで至ったことなどを重ねて指摘、安倍総理の進退に迫りました。



イージスアショア計画停止を巡る問題で「追加!? 決議」

防衛省が、秋田、山口両県で進めてきた陸上配備型の弾道ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」計画を突然停止しました。

安全保障上の不安解消の為、地方自治体、住民等へ丁寧な説明を求め、全会一致の「警告」決議、「措置要求」決議を政府に提出し、前代未聞、追加!?で採択されました。(6/22)



## 各委員会で大臣に質問! 活動実績!!

国と地方の上下主従関係を転換!? 政策の先祖返りに忠告!

改革の後退さえ感じる!!

地方・消費者特別委員会

地方創生予算 10兆円 5年間で 指摘!

北村内閣府大臣に質問!  
2020年5月29日 閣法※質疑

国の『地方創生』の施策は、地方分権改革以前の時代に先祖返りしているのではないか。「上下・主従関係」から「対等・協力関係」への転換は出来ているのか。

実は、それらの取組は「地方を軽視し、信頼していない」のではないか。一方で、「自治体にも覇気が無いのではないか」との受け止めを大臣にお訴えさせて頂きました。

論より証拠、このままの『地方創生』や『東京圏一極集中』の是正(左資料/上・下)を続ける事への疑問と、改めて『平成の大合併』の検証の必要性も訴えました。

コロナ対策は「クルーズ船対応」からはじまった! 「GoTo 予算」にみる、政府の失策続き

多額予算の国交省を質す!

私にとって、所属日数、質問回数で最多の委員会が、国土交通委員会です。2016年に所属して以来、この委員会だけで質問回数は実に45回に昇ります。

閣法などの法案審議に加え、質問では、コロナ対策もその範疇です。

司令塔も不在、後手後手で科学的根拠にも欠ける安倍政権のクルーズ船コロナ対応が続きました。

更に、GoTo トラベル 1.3兆円(キャンペーン全体では1.7兆円規模)の適正性や運営状況を質しております。

委員会審議では、災害復旧復興、タクシーハイヤー・鉄道・



クルーズ船への省の対応/社会資本維持補修について  
2020年3月10日 一般質疑

航空・港湾の各分野、建設業、道路、河川、離島振興等々、皆様からのご要請に基づき、しっかりと訴えることに努めております。

国交省は7兆円を超える一般会計予算を有するだけに、特に、全体のインフラ資産維持管理にも目を向けて無駄の排除を徹底したいと考えます。

既に、この先30年間で約195兆円もの「予防保全」予算が必要であるとの試算が出ています。

## 国土交通委員会

そんな中、例えば事業費が300億円~500億円とも言われる「八女広川3号線バイパス」建設の計画が住民の知らないうちにどんどん進んでおります。

まずは未整備の県道を完成させて、必要とあらば計画遂行せねばならない旨を交えて大臣出席の下、質問を重ね、血税使途の透明性、公平公正をお訴えています。



※質疑の様子・その他の活動は、野田くによしFBやHP、インターネット「参議院国会審議中継」を是非ご覧下さい!